学校法人河原学園　河原ＩＴビジネス専門学校

平成２９年度学校関係者評価委員会 報告書

平成３０年９月２５日

1.　平成 29 年度学校関係者評価委員会

■　評価委員

所　属	役　職　等	氏　名
株式会社　サイバー	代表取締役社長	河端　和行　氏
株式会社　アイシーシー	取締役	篠原　進　氏
医療法人　住友別子病院	総務人事課課長	真木　都登志　氏
株式会社　ハートネットワーク	エリア放送局　局長 業務局　総務課　課長	井上　和志　氏
新居浜市社会福祉協議会 金栄トンカカさん踊り保存会 新居浜市立金栄公民館運営協議会	金栄支部長 会長 委員長	加藤　彪　氏
今治明徳高等学校	副校長	髙橋　啓二　氏
在校生保護者		佐々木　秀二　氏
在校生保護者		小野　ひとみ　氏
卒業生		星川　勝哉　氏
卒業生		髙橋　玲華　氏
卒業生		高橋　和佳奈　氏

■　事務局

河原 IT ビジネス専門学校	校長	印南　扶美恵
河原 IT ビジネス専門学校	教頭	前田　敏章
河原 IT ビジネス専門学校	教務課長	木村　隆浩
河原 IT ビジネス専門学校	情報系教員	飯尾　理仁
河原 IT ビジネス専門学校	医療事務系教員	渡辺　祐子
河原 IT ビジネス専門学校	事務職員	田中　麻衣子

2.　評価対象期間

平成 29 年 4 月 1 日　から　平成 30 年 3 月 31 日　まで

3.　基準項目ごとの学校関係者評価・意見

1.教育理念・目的・人材育成像
● 過去の先輩がどのような経過をたどっているかを明確にすれば、ちゃんとした学習をすればそのようになれる、というように目標ができる。

2.学校運営
● 学校名がIT＝情報　はわかるが　ビジネス＝医療事務・医療秘書　に結びつかない。 ● IT・Webシステム科という名前に学科名変更したのはよかったのではないか。

3.教育活動
● カリキュラムや授業についての話があり、資格試験対策で対応してもらってありがたかった。 ● 実務の難しい所までやってなかったので、働きだしてすぐはきつい。 ● 基礎力の他に発想力・独創力がほしい。IoTなど新しい世界を専門学校で是非見せて発想を広げてほしい。 ● 精神的に強くなってほしい。キャパを超えると休職する人が増えている。 ● 和の中で仕事をするのは難しい。それぞれの人が得意な所で協力してやってほしい。

4.学修成果
● 就職を充実してほしい。いろいろな説明を聞いたが、地域の会社と連携して学生の選択肢を増やしていただきたい。

5.学生支援
（特に評価・意見なし）

6.教育環境
● 当校が場所的に入りにくいイメージがある。

7.学生の受入れ募集
● AO入試についてどのような入試なのか質問があった。 ● 何がしたいからどこに行くかを決める時代になっており、その要望に応える制度が大切。 ● セールスポイントとして、この専門学校にくると、どんな就職先にたどり着くのか、どんな資格が取得できるかを知ってもらう必要がある。パンフレットではわかりにくい。 ● 高校への説明はどのあたりまで出ているのか。パンフレットの送りっぱなしにならないよう、ケアが必要と考える。

8.財務
● 河原に入ってくれる学生には就職や資格試験への実力をつけることが、次の学生へつながるのでは。

9.法令等の遵守
（特に評価・意見なし）

10.社会貢献・地域貢献
● 地域での知名度を上げてもらいたい、地域の行事に参加するなどのつながりを大事にしてほしい。 ● イベントに参加することで、たくさんの地域の人と話が出来る場面があり、楽しかった。授業のみだと煮詰まってしまうこともあるので、地域のイベントがあったのは嬉しかった。

以　上